



スノーランド遊び

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- ・冬の自然の中でそり遊びを中心とした様々な活動をする楽しさを味わい、自然に親しむ心を育むことができます。

【教科への対応】 小学校：体育など

【組合せ可能な活動プログラム】 雪上運動会、チューブそり遊びなど

2 活動の概要

星見の広場に作られた雪山を使って、スノーチューブなどの各種そり遊びを楽しむ活動です。他にも的当てなどの遊びコーナー、バケツやボール、自然物などを使って作るスノーモンスターなど、雪を使った活動の楽しさを存分に味わうことができます。

(1) 人数 40人以内

※一度に実施できるのは20人程度のため、

他のプログラムと組み合わせて実施することが望ましい。

(2) 対象 幼児～小学4年生

(3) 期間 1月下旬～3月上旬

(4) 時間 1～2時間（説明・準備40分＋活動80分）

(5) 場所 星見の広場、短歌の道付近

(6) 経費 無料

(7) 指導 実施方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。



＜活動の様子＞

3 準備物

団 体	救急薬品
個 人	帽子、手袋、長靴、冬の野外活動にふさわしい服装
自然の家	各種そり（スノーチューブ、プラスチックそり、ヒップそりスライダー等） ゲームコーナー用具（雪玉的当て用的、モルック、ペタンク） スノーモンスター作り用具（バケツ大・小、ボール、移植ベラ、小枝等自然物） ※必要に応じてヘルメット

4 引率者の役割分担

役割名	内 容
代表責任者	1名。責任者として、全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。各活動中の安全管理やゲーム中のルール周知、用具類の準備と後始末を行う。
安全管理者	そり遊びコースの一部で車の往来が発生する場合があるため、その際の注意喚起と車両の誘導にあたる。

5 活動の流れ

	内 容
説 明 準 備	・ルール、安全管理、服装（防寒着・帽子・手袋）について説明 ・活動場所と活動時間について確認
活 動	[各種そり遊び] ・自分の好きなそりを選んで、順番を守りながら楽しむ。 ※ スタートとゴールに配置した職員で安全確認しながらスタートさせる。 ※ 坂を上るときは、右側を上ることとする。 ※ 車両の通行がある場合、一旦活動を停止させる。 [ゲームコーナー] ・雪玉的当て：板材で作られた獲物に向かって雪玉をなげて当てる。 ・モルックボーリング：1人3回モルックを投げ、12本のスキttlを多く倒す。 ・ペタンクダーツ：1人5球をフラフープの中心めがけて投げ入れる。 [スノーモンスター] ・バケツやボールなどに雪を積み作ったブロックや球体を数段積み上げ、木の輪切りや小枝、松ぼっくりなどをあしらってユニークなスノーモンスターを自由に作って楽しむ。
まとめ	・感想発表などふりかえりをする。 ・汗の始末、着替えなど健康管理にあたる。 ・活動支援者は用具の後始末や返却をする。

6 実施上の留意点

- ・活動時間等により、上記活動をどのように組み合わせて実施するか予め職員と相談しておく。
- ・トイレは、自然の家館内を使用することができる。

7 安全に実施するためのポイント

- ・荒天時は中止する。
- ・そりコースがアイスバーンの時は、ヘルメットを着用する。
- ・安全管理者は、常に車の往来に注意をはらい事故防止の徹底を図る。



<スノーチューブ①>



<スノーチューブ②>



<スノーモンスター>



<モルックボーリング>



<ペタンクダーツ>



<雪玉的当て>